

事業名：記念物保存活用事業



Q1 この仕事は、誰のために、何をするのですか？

市民や国民の財産といえる文化財を保存・活用することです。
保存とは、先人から受け継いだ文化財を後世に引き継いでいくために
守ること、活用とは、文化財の大切さを知ってもらったり、郷土の宝と
しての誇りを感じてもらったりするような活動を行う事です。



Q2 この仕事に、私たちの税金がどのように使われていますか？

市内の文化財（城跡や古墳等）の保存や活用のために使っています。
保存のための維持管理の対象箇所は現在 15 カ所で、草刈りや清掃が
主な内容です。

活用については、天然記念物の見学会や重要文化財の一般公開などを
行っています。令和3年度は、久井岩海のトイレや遊歩道の整備を行い
ました。



Q3 この仕事が行われることによるメリットは？

文化財を保存することで、唯一無二の文化財を後世に伝えることがで
きます。

文化財を活用して、これらのことができます。

- ・教育（文化財を知ることによって郷土愛が育つ）
- ・地域振興（文化財を核とした地域活動が促進される）
- ・観光（文化財を観光資源としたにぎわいが創出できる）



Q4 この仕事はいつから始まり、また、見直しなどを行いましたか？

昭和 24 年に法隆寺金堂が焼失したことをきっかけにつくられた文化
財保護法が、基本的な法律です。三原市でこの事業が始まった時期は、
明確ではありませんが、少なくとも平成 17 年の合併以前から各市町で
文化財に関する事業は行われていました。

令和 3 年度から令和 5 年度の 3 年間で、文化財の保存と活用に関す
る三原市独自の地域計画の作成に取り組んでいます。



事業シート（概要説明書）

予算事業名		記念物保存活用事業						事業開始年度		平成17年度				
上位施策事業名		2-2-3 歴史・文化財を活かしたまちづくり						担当局・部名		教育部				
根拠法令等		文化財保護法						担当課・係名		文化課				
事務区分		■自治事務 □法定受託事務						作成責任者		叶丸				
実施の背景		市内には、古くから守り伝えられてきたいわゆる文化財が、約3,000件存在しており、そのうち国・県の指定文化財が299件あります。これらの文化財は、三原市の歴史、文化及び風土を伝える財産として、現代まで継承されてきました。今後も適切に管理保存し、これまで先人が守り伝えてきた文化財を地域の宝として次世代に継承していく必要があります。												
目的 (何をどうしたいのか)		市民が文化財を身近に体感するための環境整備や文化財の特色を活かした活用や情報発信をすることで、文化財保護の意識を醸成し、郷土の誇りとして後世に守り伝えることを目的とします。												
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	市内の指定文化財（国31件、県58件、市210件）						対象者数（全住民に対する割合）						
									人	(		%	)	
	実施方法	■直接実施												
		■業務委託 又は □指定管理 （委託先又は指定管理者：シルバー人材センター、造園業者等）												
		■補助金〔直接・間接〕（補助先：文化財所有者、市民団体 実施主体：文化財所有者、市民団体 ）												
		□貸付（貸付先： ） □その他（ ）												
	事業内容 (手段、手法など) ※詳細は別紙1「各事業の概要」	事業内容（箇条書き）				事業費		活動指標						
		①文化財保存活用地域計画の作成（3か年計画の1年目）				3,248千円		計画作成進捗度						
		②久井岩海の保存整備（4か年計画の4年目）				18,295千円		整備進捗度						
		③指定文化財の保護と公開（維持管理）				2,644千円		対象文化財数15 ※別紙2参照						
④文化財保護審議会の開催				109千円		開催数								
⑤その他（負担金、補助金）				293千円										
関連事業 (同一目的事業等)														
コスト			令和4 年度（予算）			令和3 年度(決算見込み)			令和2 年度(決算)			平成31 年度(決算)		
	事業費	事業費合計	12,632千円			24,589千円			10,986千円			10,972千円		
		事業費内訳 (令和3年度分) ※詳細は別紙1「各事業の概要」	①保存活用協議会委員報酬、旅費、講演会開催費、調査員謝金、計画作成委託料 ②久井岩海整備委員会委員報酬、旅費、消耗品費、報告書印刷製本、整備工事費 ③公開時の人件費等、維持管理の委託料、維持管理用の消耗品等 ④文化財保護審議会委員報酬、旅費、その他（各種負担金、補助金） ⑤その他（負担金、補助金）											
		人件費	担当正職員	3.00人	18,000千円	2.00人	12,000千円	2.10人	12,600千円	2.10人	12,600千円			
			臨時職員等	0.90人	1,575千円	0.50人	875千円	0.00人	0千円	0.00人	0千円			
			人件費合計	3.90人	19,575千円	2.50人	12,875千円	2.10人	12,600千円	2.10人	12,600千円			
	総事業費		32,207千円			37,464千円			23,586千円			23,572千円		
財源内訳	国県支出金	4,232千円			12,700千円			3,105千円			1,890千円			
		国県支出金の内容		【久井岩海整備】史跡等総合活用整備事業費補助金（国）、【文化財保存活用地域計画】地域文化財総合活用推進事業費補助（国）										
	地方債	0千円			8,900千円			3,000千円			1,800千円			
	その他特財	0千円			0千円			0千円			0千円			
		その他特財の内容												
	一般財源	27,975千円			15,864千円			17,481千円			19,882千円			
財源合計		32,207千円			37,464千円			23,586千円			23,572千円			

事業シート（概要説明書）

予算事業名		記念物保存活用事業				事業開始年度	平成17年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	令和3 年度	令和2 年度	平成31 年度
		文化財保存活用地域計画作成			基礎資料作成	－	－
		久井岩海整備達成度		%	100/100	44/100	25/100
		文化財保護審議会		回	1/1	2/2	1/1
		講演会，見学会開催回数		回	4/10	10/13	9/10
	単位当たりコスト	総事業費	／	指定等文化財件数 299件	千円	125	79
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	文化財の保存によって，活用を促進し，文化財を後世に守り伝えることができる。 講演会，見学会などを実施し，重要文化財の公開することで，市民が市の歴史，文化をより一層身近に感じることができる。					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	令和3 年度	令和2 年度	平成31 年度
		市民満足度アンケート調査・伝統文化や文化財の保護・継承への満足度（市のどんなところに愛着を感じるかを11の選択肢から「歴史・文化・伝統」を選択した割合。別紙3参照）		%	5.10%	－	（H30年度調査 5.1%）
		久井岩海見学会の参加者数		件	86/120	－	－
		講演会・見学会の参加者数		人	1,105/1,510	504/1,380	2,035/1,420
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）		【成果目標の達成状況について】 「市民満足度アンケート調査」の「伝統文化や文化財の保護・継承への満足度」について，平成30年度の結果を上昇させるという成果目標でしたが，令和3年度の調査でも同じ数値となりました。下降はしていないものの，上昇という目標は達成できませんでした。文化財への興味・関心を喚起するため，歴史と文化に触れる機会を設けることが必要です。 【今後の事業の方向性について】 現在，市内の未指定を含む文化財の総合的・一体的な保存と活用に関する基本的な計画である三原市文化財保存活用地域計画を作成中です。この計画に沿って，今後の市内の文化財の保存と活用を計画的に進めていく予定としています。この計画に沿って，文化財の活用をより一層進める必要があります。					
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		他の自治体においても各自治体が管理する文化財があります。 自治体によって，文化財の規模や種類は違いがあるため，通年的な維持管理や活用に関する予算規模も異なります。 文化財を大規模に整備を行う時期や期間は，自治体の財政状況や文化財の調査，復旧の緊急度によって個別に対応が異なるため，一概に比較ができない状態です。 他自治体指定文化財件数 ・尾道市 370件（人口131,056人） ・東広島市 218件（人口189,534人）					
特記事項							

委託・指定管理・補助 対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	記念物保存活用事業(文化財維持管理委託(対象史跡数：国4，県3，市5))		事業開始年度	平成17年度
団体名	シルバー人材センター			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	随意契約(「地方自治法施行令第167条の2第1項第3号」に基づく契約) 地方自治法施行令第167条の2には、市がシルバー人材センターから役務の提供を受けたり、障害者支援施設等から物品を購入したり役務の提供を受ける場合、随意契約とすることができることが定められています。 高齢者の生活の充実と地域社会への貢献のため、臨時的かつ短期的または軽易な業務について、随意契約で契約を行っています。			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	0 千円	史跡整備委託(清掃・草刈等)	838 千円
	県からの財政支出金	0 千円		千円
	市町村からの財政支出金	838 千円		千円
	委託料・指定管理料	838 千円		千円
	補助金	0 千円		千円
	その他	0 千円		千円
	その他 ()	0 千円		千円
	総計	838 千円	総計	千円

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	シルバー人材センターは関係法令の規定に基づき、県から認定を受けて設立された公益社団法人です。 高齢者に希望や能力に応じた「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な就業」を提供するとともに、ボランティア活動等の社会参加を通じて高齢者の健康で生きがいある生活の実現と、地域社会の活性化に貢献しています。地域の家庭や企業、公共団体などから請負、委任契約、又は派遣により仕事を受注し、会員として登録をした高齢者に、希望や能力に応じて提供することでその仕事を遂行しています。 市内在住の60歳以上の様々な経験や技能をもった方が会員として登録されており、会員の技術・技能を高めるための各種講習会も定期的を実施しています。										
	正味財産		67,343 千円	役職員	(単位:人)	常勤	うち (出向／OB)	非常勤	うち (出向／OB)	監事	うち (出向／OB)
	市出資金	0 千円			役員						
	出資比率	0 %			職員						
団体全体の収支状況	収入					支出					
	経常収益			343,063 千円	事業費				50,695 千円		
	経常外収益			90 千円	管理費				3,131 千円		
				千円	人件費				298,040 千円		
				千円	その他 ()				千円		
				千円	総計				351,866 千円		
				千円							
	その他 ()			千円							
特記事項	総計			343,153 千円	収支差				△ 8,713 千円		
	負債総額:26,689,316円 資本総額:67,343,487円 利益剰余金:△8,713,271円										
財務諸表URL	https://webc.sjc.ne.jp/mihara/information_4										

委託・指定管理・補助 対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	記念物保存活用事業(文化財維持管理委託(エヒメアヤメ))		事業開始年度	平成17年度
団体名	エヒメアヤメ保存会			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	随意契約(地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づく契約) 地方自治法施行令第167条の2Iには、契約の目的・内容によって、それに対応する経験等を有する相手方を選定し、契約することが、市の利益の増進(公共の福祉の増進)につながると合理的に判断できる場合、随意契約ができるものとしています。 沼田西地区の町内の住民で組織されるエヒメアヤメ保存会は、自生地を地元の宝として保存活動を継続的に行っています。本業務の受託により、さらなる地域づくりの醸成が図れるなど地域振興への関りが深まり、結果として市の利益の増進につながると合理的に判断できることにより、随意契約としています。			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	0 千円	エヒメアヤメ一般公開監視業務	217 千円
	県からの財政支出金	0 千円	エヒメアヤメ自生南限地帯保存整備業務	192 千円
	市町村からの財政支出金	409 千円		千円
	委託料・指定管理料	409 千円		千円
	補助金	0 千円		千円
	その他	0 千円		千円
	その他 ()	0 千円		千円
	総計	409 千円	総計	409 千円

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	自生地が所在する沼田西町内会を母体とする市民団体です。 設立は昭和40年で、継続的にエヒメアヤメ自生地の保護活動を行っています。												
	資本金		千円		役員 職員	(単位:人)	常勤	うち (出向／OB)	非常勤	うち (出向／OB)	監事	うち (出向／OB)	
	市出資金		0 千円				役員						
	出資比率		0 %				職員						
団体全体の 収支状況 ※不明	収入					支出							
	国からの財政支出金					千円		事業費				千円	
	県からの財政支出金					千円		管理費				千円	
	市町村からの財政支出金					千円		人件費				千円	
	委託料・指定管理料					千円		その他 ()				千円	
	補助金					千円		総計				千円	
	その他					千円							
	その他 ()					千円							
特記事項	総計					千円		収支差				千円	
	負債総額: 円 資本総額: 円 利益剰余金(もしくは欠損金): 円												
財務諸表URL													

項目	区分			内容	市内の文化財					特に価値が高いもの		
					国		県		市			
有形文化財	指定	重要文化財	178	建造物（18），美術工芸品等（173）	（建造物） 宗光寺山門，米山寺宝篋印塔など	3	極楽寺本堂，楽音寺本堂	2	順勝寺山門，鐘撞堂，糸碓神社神門など	13	国宝	
					（絵画） 絹本着色小早川隆景像など	2	絹本着色釈迦涅槃図，絹本着色楽音寺縁起絵巻など	3	紙本着色小早川隆景像，絹本着色登覧画図，紙本着色備後三原絵図	17		
					（彫刻） 木造僧形八幡神坐像など	3	木造男神坐像，木造四天王立像，磨崖和霊石地藏など	18	木造千手観音菩薩立像，木造薬師如来坐像など	50		
					（工芸品） -	0	-	0	銅鐘，短刀銘三原住正家，彫金東海旭日文香爐など	18		
					（書跡，典籍，古文書） 紙本墨書大般若經	1	佛通寺文書，東禅寺文書，紙本墨書啓迪集など	14	新刊補註釈文黄帝内経素問，紙本墨書易書など	22		
					（歴史資料，考古資料） 阿弥陀経版木 法華経普門品版木 金剛寺寿命陀羅尼経版木	1	金剛般若波羅蜜経版木，銅戈など	3	清水南山遺品，沼田東出土中世船の船底材，文政12年三原城石垣櫓修補願図控など	8		
	登録	登録有形文化財		12	南山資料館，佛通寺多宝塔，眞田家住宅など	12						
	認定	重要美術品		1	石造宝篋印塔	1						
無形文化財	指定	重要無形文化財		0	演劇・音楽・工芸技術	-	0	-	0	-	0	
	選択	記録作成等の措置を講ずべきもの		0		-	0					
民俗文化財	指定	有形	重要有形民俗文化財	2	無形民俗文化財に用いられる衣服・器具・家屋	-	0	久井町の節句どろ人形	1	のぞきからくり	1	
	登録		登録有形民俗文化財	0		-	0					
	指定	無形	重要無形民俗文化財	14	衣食住・生業・信仰・年中行事・風俗習慣・民俗芸能	-	0	ちんこんかん，能地春祭のふとんだんじりなど	4	木原町太鼓踊り，ハツ頭チコカン踊り，御弓神事など	10	
	選択		記録作成等の措置を講ずべきもの	1		久井稻生神社の御当	1					
記念物	指定	史跡		65	貝塚・古墳・城跡・旧住宅	小早川氏城跡（三原城跡，高山城跡，新高山城跡），御年代古墳，横見廃寺跡	3	梅木平古墳，兜山古墳，黒谷古墳，杭の牛市跡など	9	小早川家墓所，棕梨城跡，清水南山生誕の地，佛通寺など	53	特別史跡
	指定	名勝		0	庭園・峡谷・海浜・山岳	-	0	-	0	※（佛通寺は史跡及び名勝）	0	特別名勝
	指定	天然記念物		25	動物・植物・地質鉱物	ナメジリウオ生息地，沼田西のヒメマメ自生南限地帯，久井岩海	3	佛通寺のイヌキ，筋原のカヅナヅナ，御調八幡宮の社叢など	4	糸碓神社のクスノキ，吉田山甌穴群など	18	特別天然記念物
	登録	登録記念物		1	保存と活用が特に必要なもの	船木氏庭園	1					
文化的景観	指定	文化的景観		0	棚田・里山・用水路	-	0					重要文化的景観
伝統的建造物群	選定	伝統的建造物群		0	宿場町・城下町・農村	-	0					重要伝統的建造物群保存地区

299

31

58

210

は，制度なし。

各事業の概要

- ①事業名 文化財保存活用地域計画作成
 概要 未指定を含む文化財の総合的・一体的な保存と活用に関する基本的な計画の作成
 目的 今後の市内の文化財の保存と活用を計画的に進めるため。

事業費内訳

説明	内訳
文化財保存活用地域計画作成協議会委員報酬	256
旅費	66
講演会等講師謝金	255
消耗器材費	49
講演会舞台機器等操作手数料	26
文化財保存活用地域計画作成委託料	2,596
合計	3,248

- ②事業名 久井岩海の保存整備
 概要 久井岩海の遊歩道、周辺施設の整備
 目的 国の天然記念物である久井岩海の理解を深め活用を促進するため。

事業費内訳

説明	内訳
久井岩海保存整備委員会委員報酬	135
旅費	118
消耗器材費	17
印刷製本費（報告書作成）	205
久井岩海整備工事費	17,820
合計	18,295

- ③事業名 文化財の保護と公開

※対象の文化財は別紙2「指定文化財の保護と公開（維持管理一覧）」のとおり

- 概要 市有文化財（主に史跡）の維持管理と公開
 目的 市内外からの来訪者が快適に文化財を見学できるようにするため。また、市内の文化財の理解をより深めてもらうための公開を行うため。

事業費内訳

説明	内訳
監視員謝金（文化財公開）	98
旅費	91
消耗器材費	27
電気使用料（岩海トイレ等）	19
文化財維持管理委託料	2,307
その他（トイレ汲取、機器借上、駐車場借上）	102
合計	2,644

- ④事業名 三原市文化財保護審議会
 概要 文化財の保存及び活用に関する重要事項に関する調査審議（文化財保護法第190条第2項）
 目的 専門的な見地から文化財指定や許可について審議を行い、適切な指定、変更を行うため。

事業費内訳

説明	内訳
文化財保護審議会委員報酬	71
旅費	38
合計	109

- ⑤事業名 負担金・補助金
 概要 各種協議会等への負担金と文化財所有者への補助及び郷土文化研究団体連合会への補助
 目的 ・文化財管理事業費補助…文化財の維持管理に係る費用（消防点検費用）を補助（1/2）
 ・郷土史研究会連合会補助…市の郷土文化の発展に寄与することを活動の目的とする市郷連の積極的な事業の推進及び円滑を図るため。（定額）

事業費内訳

説明	内訳
文化財保護委員会連絡協議会負担金	15
全国史跡整備市町村協議会負担金	40
雪舟サミット参加負担金	79
文化財管理事業費補助（3カ所）	64
郷土史研究会連合会補助（1団体）	95
合計	293

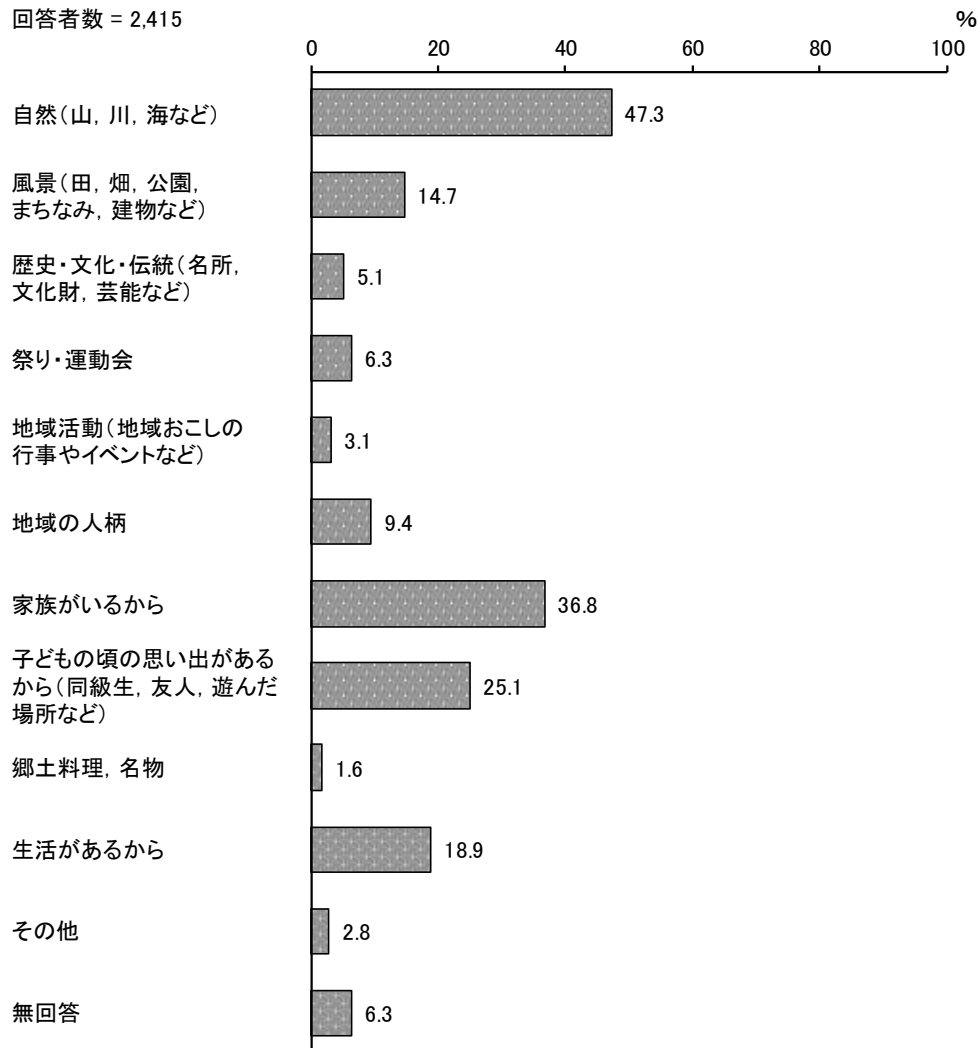
指定文化財の保護と公開
(維持管理一覧)

	指定 区分	名 称	所在地	業務内容
1	国	高山城跡 (たかやまじょうあと)	三原市高坂町	草刈, 伐採
2	国	御年代古墳 (みとしろこふん)	三原市本郷町	草刈
3	国	横見廃寺跡 (よこみはいじあと)	三原市本郷町	草刈, 伐採
4	国	久井岩海 (くいがんかい)	三原市久井町吉田	岩海内草刈 トイレ清掃
5	国	エヒメアヤメ自生南限地帯 (じせいなんげんちたい)	三原市沼田西町	草刈
6	県	貞丸古墳 (1号) (さだまるこふん)	三原市本郷町	草刈
7	県	貞丸古墳 (2号) (さだまるこふん)	三原市本郷町	草刈
8	県	梅木平古墳 (ばいきひらこふん)	三原市本郷町	草刈
9	県	兜山古墳 (かぶとやまこふん)	三原市沼田東町	草刈, 伐採
10	市	吉田山甌穴 (よしだやまおうけつぐん)	三原市久井町	草刈
11	市	相良城跡 (さがらじょうあと)	三原市大和町	草刈, 伐採
12	市	斗山寺跡 (とさんじあと)	三原市大和町	草刈, 伐採
13	市	清水南山生誕の地 (しみずなんざんせいたんのち)	三原市幸崎町	草刈
14	市	鐘撞堂 (かねつきどう)	三原市本町	草刈
15	市	棕梨城跡 (むくなしじょうあと)	三原市大和町棕梨	草刈, 伐採

問9で「1. とても愛着を感じている」または「2. どちらかというとな愛着を感じている」を回答した方にうかがいます。

問9-1 どんなところに愛着を感じますか。（〇は2つまで）

「自然（山、川、海など）」の割合が47.3%と最も高く、次いで「家族がいるから」の割合が36.8%、「子どもの頃の思い出があるから（同級生、友人、遊んだ場所など）」の割合が25.1%となっています。



MEMO

[illegible]